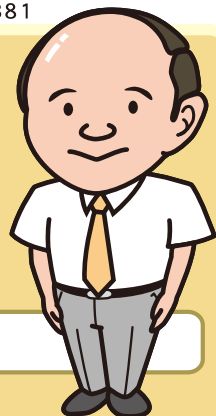




西野まさひと

活動報告 NO.15



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 【FAX】042-582-2866

西野まさひと友の会では平成20年9月日野市議会における主な内容と西野議員の一般質問についてご報告致します!



世界の人々が訪れる日野の街づくり!

平成20年9月議会において、市議会自民クラブの会派を代表して平成19年度一般会計決算に対して意見を述べる機会を頂きました。総括すると馬場市政は、厳しい財政状況の中でしっかりと行政運営に取り組み、さらなる市民サービス向上へ多くの成果を上げています。

しかし、右の数字の通り実質収支は約12億強の赤字となつていますが、**単年度収支は前年度に引き続き赤字**となつています。そして、**経常収支比率が94.0%**と前年度と比べ7.8ポイントも悪化しています。(日野市の目標値は85%)これは、下水道特別会計への繰り出し基準の変更等で数値の悪化はやむを得ませんが、大手企業の減収に伴う法人市民税の減少も大きく影響しています。今後経済の見通しが厳しい中、市政運営にいつその努力が必要です。

日野市議会議員 西野正人



P2/3 主要事業10の柱ポイント

一般会計歳出
537億7878万円

平成19年度テーマ

- ・ 芸術文化の薫るまち
- ・ 子育てと健康の要は
- ・ 食育にあり

P4 西野議員一般質問

一般会計歳入
549億9565万円

昨年度事業総括

検証

馬場市政 平成19年度決算

日野市民に感謝の12年



私が日野市長の職を担わせていただき早くも12年が過ぎようとしています。この間、市民の皆様には様々なお立場からお力添えを頂き、心から感謝申し上げます。市長になった当時、市の財政は逼迫し、多くの課題が山積していました。市長として新たな行政サービスを提供することが難しい状況でした。振り返るとこの12年間、私はまさに市民に「おねがい」ばかりをして参りました。そして西野議員を始めとして議会の協力と、何より市民の皆様のお力によって難局を乗り越え、ここまで来ることが出来ました。そして今、市民の多くの方が「まちが変わった」と感じていらっしゃるのではないのでしょうか。国や都からの協力も頂き、立ち後れていた基盤整備がようやく整ってきました。

しかし、まだ充分とは言えません。来るべき地域主権の時代に備え、日野市はまちの将来・方向性を決定する大切な時期を迎えています。未来を担う次の世代が夢と希望を抱くことが出来る日野市とするために、今あらためて明確なビジョンをもってまちづくりに取り組みべき時です。私は、市内企業の世界に誇る技術力のもとより、多くの文化人が愛した日野の環境と文化をさらに向上させたいと思います。これからの日野市を、「文化的な潤いのあるまち」、「世界に誇れる環境に優しいまち」、「安心・安全のまち」を目標に、まちづくりの総仕上げに全力で取り組む所存です。どうぞ引き続きお力をお貸し下さい。

日野市長 馬場弘融



「日野いいプラン2010」

平成19年度の主な事業

まちづくりの10の柱

施策の成果 ダイジェスト！

馬場市政は平成19年度も多く
の成果を上げました。ここでは
馬場市政が掲げる「日野いいプ
ラン2010」の10項目からなる
「まちづくりの10の柱」から主
要な内容をピックアップしてご
説明します。



馬場市政

I 参画と協働のまちづくり

●第3次日野市行財政改革大綱及び集中改革プランの推進

日野市第4次基本構想・基本計画「日野いいプラン2010」と第3次日野市行財政改革大綱実行のため**市民も加えた行政評価**を行いました。この市民の評価により、これまで懸案だった「**高齢者への敬老金**」の廃止や**特別養護老人ホーム浅川苑等の民間委譲への道筋**を付けることが出来ました。

●指定管理者制度の拡大

これまで市の施設の管理は、公共的な団体にしか管理委託することが出来ませんでした。法改正を行い、**民間事業者などに委託することが出来る**ようになりました。このことにより、市の財政問題の解決に大きく希望が開けました。平成18年度は16施設に導入。平成19年度は2つの児童館と市民農園に導入しました。

馬場市政

II 日野人・日野文化を育てるまちづくり

●平山小学校完成、日野第一中学校の建替

平山小学校の建替えが完了しました。鉄筋コンクリート造3階建、延べ床面積7038㎡です。(右写真)

日野第一中学校は新耐震基準で現在建替え工事中です。来年度完成予定！(左写真)



馬場市政

III ふれあいのあるまちづくり

●平山季重(ひらやま すえしげ)ふれあい館の開設

老朽化した平山図書館、平山地区センターを建替え、鉄筋コンクリート造3階建、延べ床面積2051.24㎡、地域交流ひろば、子育てひろば、地区センター、市政情報コーナー、多目的ホール、55,000冊の蔵書を持つ図書館を有する「平山季重ふれあい館」を京王線平山城址公園駅前に開設しました。



馬場市政

IV 対等の立場で心のかようまちづくり

●義務教育就学期医療費助成

子ども達の健康とお子さんがいらっしゃるご家庭の経済的負担軽減のため、これまでの乳幼児医療費助成に加え、平成19年10月から中学校終了までの児童を対象に医療費の助成制度を拡充しました。

●自立支援法独自支援・負担軽減

障害者自立支援法の施行に伴い、施設運営の収入激変の緩和を図るため、市内5法人6施設に対して施設運営費を助成いたしました。
また、4法人5施設に対して送迎サービス費用を助成しました。

馬場市政

V

だれでもが健やかでいられるまちづくり



●日野市食育推進計画の策定(食から始まる健康づくり)

市民一人ひとりが「食を通じて、心身ともに健康に生きて行く指針として、市民・農業関係者ほか関係各団体とともに検討し、3つの重点推進事業と平成23年度までの達成数値目標を決めました。平成19年度は、①家庭での食育 ②保育園での食育 ③学校での食育 ④地域における食育 の各テーマで取り組みました。

●健康診断事業経費

市民の健康保持・増進のため、実施期間も延長し「基本検診」、「がん検診」を行いました。基本検診の受診者は26,308名、各種がん検診は36,202名、骨粗しょう症健診1,008名、肝炎ウィルス検診2,853名と大変多くの方が受診をされ市民の健康を守るため大きな効果を上げることが出来ました。

馬場市政

VI

住みやすいまちづくり

●百草谷戸緑地保全地区計画区画道路工事

百草谷戸地区に140mの街築を行いました。併せて緑化ブロック擁壁、排水・舗装工事を行いました。



馬場市政

VII

気軽に出かけられるまちづくり

●歩きたくなるまち日野整備

ウォーキングコースの整備として東豊田緑地保全地域内に土居木階段、ロープ柵、木橋を新設しました。



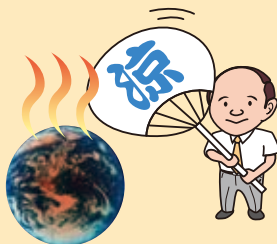
馬場市政

VIII

自然と人が共生するまちづくり

●CO₂削減啓発事業

「ふだん着でCO₂をへらそう」事業の平成20年度からの本格始動に向けて、協力事業者や協力世帯をつくるため、木製バッジ1000個を作成しました。



●生ゴミリサイクル事業

可燃ごみの半分を占める生ごみを減らすため、生ごみ処理機購入に補助を行いました。件数は電気式116基、コンポスト容器63基でした。また、地域内で堆肥化への循環の仕組みを作るため「一般家庭生ごみ堆肥化循環モデル事業」を市内110世帯で実施し、検証を行いました。

馬場市政

IX

安全で安心なまちづくり

●まちなみ等安全緑化事業

市内企業・市・NPO法人の協働により日野郵便局交差点の角地部分を低い植え込みにし、見通しを良くし通学路の安全を確保しました。



●新地域防災計画推進

防災ハザードマップを活用し、地域ごとに自主防災組織や自治会等を主体とした地域防災カルテの作成を、モデルケースとして高幡不動駅北側の地区で行いました。自主防災組織・自治会・消防団・障害者団体が参加し、防災意識を高めることが出来ました。



馬場市政

X

個性と魅力と活気あるまちづくり

●都市計画道路3・4・14号線築造

都市計画道路「日3・4・14号線」南平地内の京王線とのアンダーパス立体工事を行っています。

平成22年度
完成予定!

●日3・4・22号線緑橋耐震補強及び拡幅橋桁工事

都市計画道路「日3・4・22号線」東光寺地内の中央道にかかる緑橋耐震補強及び拡幅橋桁工事を行っています。

平成22年度
完成予定!

質問
15-1

市民生活を直撃する物価上昇について市の対応を問う

提言！プレミアム付カワセミ商品券の追加発行を！

平成19年4月議会において、原油価格上昇により影響を受けている市民生活への対応を問いましたが、再び9月議会にて質問をいたしました。

今や、物価の上昇が深刻な打撃を与え始めており、セーフティネットの充実等、行政の対応が必要なる事態を迎えています。そこで、まず社会的弱者と言われる方々への市の対応状況を確認致しました。



●安心生活総合相談窓口(セーフティネットコールセンター)が10月新設！

市では様々な対応を準備していますが、対応が各課にわたり複雑になりますので、状況に応じて相談に応じることが出来るように「安心生活総合相談窓口、セーフティネットコールセンター」を10月に立ち上げました。

また、物価上昇による買い控え等による市内の商工業者・農業生産者・市民への配慮として、「**プレミアム付きカワセミ商品券**」の追加発行を提言致しました。市民の皆様にも好評を得ているカワセミ商品券によって緊急経済対策として早期に実現することを願います。

セーフティネットコールセンター TEL 042-586-0611 (直通)



物価上昇に伴う単品スライド条項の早期適応を！

物価の高騰は、市から仕事を請け負う様々な仕事にも深刻な影響を与えています。契約当時から原材料が大幅に値上がりしているからです。建設に必要な鉄筋・鉄骨に置おいては平成19年4月から比べ、それぞれ約76%、約53%も値上がりしています。このままでは、市内の商工業者に深刻な打撃を与え、工事等の品質低下や労働環境の悪化、下請け業者への労賃低下や不払いなどの影響も出かねません。

国交省や都では昭和55年に第二次オイルショック時の対応策として定められた「**単品スライド条項(工期内に工事材料の著しい変動時に契約金額の変更を請求出来る制度)**」を初めて適用することになりました。

日野市でも早急に現状に即した対応をすべきであると指摘をし、市の姿勢を確認致しました。



石川SA(上り)からETC車は出入りを可能へ！



西平山のこの先の事業化へ向けて！



8/22 議連協議会

質問
15-2

都市計画道路整備の現状と中央自動車道石川PAスマートIC設置について問う

自民クラブは日野市・八王子市の議員団で議連を結成！

甲州街道日野バイパスが開通し、市民の多くが幹線道路整備の重要性を、利便性・安全性・環境面から実感したのではないのでしょうか。今議会では、日野市内の都市計画道路の整備状況に付いて質問し、確認を行いました。平成19年度末の整備率は53%に止まっており、今後いつその取り組みが必要で

そこで、日野市議会自民クラブでは、懸案の日野バイパス延伸部(甲州街道の川辺堀之内から分岐し八王子市場へとつながる区間)の早期実現をめざし八王子市議団と議員連盟を立ち上げ、昨年から継続的に協議を続けております。この日野バイパス延伸部においては分岐点から3.8キロメートルまではすでに国による事業の実施が決定していますが、以西はまだ決定しておりません。私達の議連には小川友一代議士、萩生田光一代議士にもご参加頂き国との連携を密にして、早期事業化実現に向け取り組んでいます。

●石川SAにスマートインター実現へ！

また、同時に中央高速石川サービスエリア上り側にスマートインターチェンジの設置実現に向け両市間にわたる諸問題について協議を進めています。

